



2019年3月14日

各位

会社名 株式会社三井ハイテック
代表者名 代表取締役社長 三井 康誠
(コード番号 6966 東証第1部・福証)
問合せ先 取締役管理本部長 白川 裕之
(TEL 093-614-1111)

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2018年12月10日に公表いたしました2019年1月期(2018年2月1日～2019年1月31日)の通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年1月期通期連結業績予想数値と実績値との差異 (2018年2月1日～2019年1月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|--------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 82,000 | 300 | 600 | 300 | 7.97 |
| 実績値 (B) | 81,985 | 499 | 817 | 302 | 7.98 |
| 増減額 (B - A) | △15 | 199 | 217 | 2 | |
| 増減率 (%) | △0.02 | 66.56 | 36.30 | 0.94 | |
| (ご参考) 前期実績 (2018年1月期) | 78,727 | 2,142 | 1,856 | 1,906 | 49.54 |

2. 差異の理由

売上高は、電子部品事業において第3四半期以降、民生用および車載向けリードフレームの売上高が予想を下回る結果となりましたが、電機部品事業において車載向けモーターコアの売上高が予想を上回り、全体として概ね前回予想通りの結果となりました。

営業利益と経常利益は、全グループを挙げて原価低減に取り組んだことにより前回予想を上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失として収益性の悪化した資産グループの減損損失1億4千4百万円を計上したことにより、概ね前回予想通りの結果となりました。

以上